

ネマコート (S)

週1回散布の総合葉面散布資材

亜熱帯植物樹液、パパイヤ酵素、泡盛もろみ、黒糖、糖蜜等の天然物由来の原料を発酵、熟成させた液体です。化学的に合成された物質は一切使用しておりませんので安心してご使用頂けます。

週1回の定期葉面散布で作物の健康を維持し、生育トラブル(光合成不足、栄養成長、花芽形成、着果、肥大、食味、糖度などの品質、生理障害、病害虫)を減らす目的でお使い下さい。

【製造工程】

■琉球桑…新芽を採り、14日間乾燥、粉末にし、純水で培養、補酵素を添加。

その後、特殊 T1 発酵菌装置で 180 日間熟成させる。

■セイロンシナモン…葉、茎などを乾燥、粉砕し、煮炊き濃縮液を作り、補酵素を加えて、濃縮樹液装置で 180 日間発酵、熟成濃縮する。

■ギンチャー…15年生以上の新枝を採り、乾燥、粉砕後、純水で混合。濾過後、補酵素で培養し、濃縮樹液装置に混入する。

その他テルペン系樹液も上記とほぼ同じ方法で抽出、熟成させる。

■パパイヤ酵素…完熟パパイヤに、60日間かけて微量要素(サトウキビ黒糖など天然物由来)を加え、120日間かけてパパイヤ原液酵素を製造し、原液モルトタンクで熟成させる。

■有機酸(ビルビン酸)、アミノ酸、核酸…泡盛製造工程の11日目のもろみより抽出する。

■アスペルギルス菌…特殊 T1 発酵菌装置に黒麹モルトを投入し、90日目に発酵停止して、更に微量発酵を繰り返す。

■ブラウンシュガー…サトウキビ黒糖を気体ガス排除装置で第一、第二段階の解糖分解を行い、これに補酵素を混入し、長期間かけてアミノ酸、微量要素などを抽出する。



【使い方】

●葉面散布…1000倍液を1週間間隔で散布する(農薬混合可)

●土壌散布…樹に異常を感じたら500倍液を根圏に3~4日毎1~2ℓ/株を3回灌水する。

【注意事項】

●初めて散布する場合は試し散布し、作物に異常がないことを確認してからご使用下さい。

●小児の手の届かない冷暗所に保管して下さい。

■包装 2/10kg

